

## りんかんホール誕生で学習意欲もUP!

この度、学友会からの寄贈によりB館1階学生ホールに新たなラーニングcommonsが誕生し、9月14日(月)に贈呈式が執り行われました。

無線LANスポットの設置によりストレスの無い通信環境が得られます。りんかんホールの開設により、勉強意欲の向上、両学科の学生同士の懇親が深まることと思います。

- ◇場所: B館1階
- ◇利用時間: 平日8:30~21:00(本学図書館利用時間に準ずる)
- ◇飲食可能
- ※新型コロナウイルス感染状況により、変更になる事があります。



## 「withコロナ」見据えた試み

新型コロナウイルス感染症拡大が心配な状況となっています。大学の感染症対策としては、「教室換気」、「マスクの着用」、「手指消毒の実施」、「三密を避けた活動工夫」を引き続き行ってきたいと思っています。

日々の健康チェックを徹底していただき、大学内では、外部の方を把握するためにも名札を着用してください。ご理解ご協力をお願いいたします。

### 【更衣室】

◇場所: 本館3階・4階(看護学科)  
B館3階(臨床検査学科)

◇利用方法: 入室の際には、更衣室入口掲示のマグネットを、枠外から青枠(入室)へ移動してください。マグネットは入室可能人数分しかありませんので、枠外にない場合入室できません。



### 【コンピュータ演習室】

◇場所: 本館2階

◇利用時間:

平日 8:30~17:00

◇利用方法: 教学課にて利用台帳に記入した上で、「利用許可証」を入手し記載してある番号のパソコンを利用してください。また利用前後には手指消毒、利用後には演習室に設置の除菌シートでマウス・キーボード等を拭き、所定のゴミ箱に捨ててください。



### サロンMIE

B館2階に設置されています。サロン内でお読みいただける雑誌や書籍を常設。また、感染対策として配置を工夫しながら、心癒される飾りつけが施された温かな空間は、学生がリラックスできる場所となっています。



### 癒しスポットの紹介



### クリスマスツリーin学生ホール

12月9日(水)学生ホールにクリスマスツリーが登場しました。学友会の学生が中心となり飾りつけをしてくれました。校外が暗くなるころ、ツリーにライトが灯ります。



### 教学関係スケジュール / 1月~3月

月日	学年	
12/28(月)~1/3(日)	全学年	冬季休業
1/4(月)	1・2年生	後学期授業再開
1/4(月)	3年生	臨地実習再開
1/6(水)	2年生	助産師国家試験受験資格取得科目履修生選考
1/13(水)	1・2年生	後学期授業終了
1/15(金)・1/18(月)~1/22(金)	1・2・4年生	後学期試験(1/23試験予備日)
1/25(月)~2/19(金)	2年生	基礎看護学実習II
2/15(月)・2/16(火)	1年生	追・再試験
2/11(木)・12(金)・14(日)	4年生	国家試験(11助産師・12保健師・14看護師)
2/26(金)	3年生	臨地実習終了
3/1(月)・3/2(火)	2年生	追・再試験
3/3(水)	2年生	保健師国家試験受験資格取得科目履修生選考
3/10(水)	4年生	学位記授与式(予定)
3/26(金)	4年生	国家試験合格発表
3/31(水)	1・2・3年生	健康診断(予定)



## 保護者懇談会を開催

~ご参加ありがとうございました~

10月3日(土)教育後援会主催の保護者懇談会を開催いたしました。

会員皆様のご支援により73名の方に参加いただきました。この場を借りて教職員一同、深く御礼申し上げます。

当日の全体説明会では、教育後援会会長田中様の開会挨拶から始まり、大学側として丸山学長の挨拶、水野副学長より後学期からの授業について、豊田看護学科長、高崎臨床検査学科長より本学の教育の取り組みや学生生活状況について説明させて頂きました。保護者様から、臨地実習や対面授業及び遠隔授業、国家試験等について質問があり、大学側からご説明させて頂きました。

その後、面談会場に移動し、アドバイザー担当教員等との個別面談を実施しました。1組15分程度の面談

ではありましたが、ご子弟の学生生活の状況等を知っていただくいい機会になったと思います。

今年度は、コロナ禍にあり、多様な授業形態の中、全体説明会や個人面談等で多くのご意見を頂戴いたしました。お預かりしたご意見を集約し、すみやかに学生支援等ができるよう、教職員一同より一層精進してまいります。引き続きご支援、ご指導の程、宜しく申し上げます。



## 宮崎徳子奨学金・長江拓子奨学金 授与式挙行

~11月26日(木)、宮崎徳子奨学金および長江拓子奨学金授与式を開催しました。~

11月26日(木)、宮崎徳子奨学金および長江拓子奨学金授与式を開催しました。

宮崎徳子奨学金は、開学以来、学科長、学生支援センター長、学長補佐を歴任され、現在に至るまで本学の発展にご尽力いただいている宮崎徳子先生から頂戴したご寄付を基に創設された奨学金です。また、長江拓子奨学金は、本学で教鞭を取られた後、顧問としてお力添えをいただいた長江拓子先生から頂戴したご寄付を基に創設された奨学金です。

この二つの奨学金制度は、本学の学生がより一層学習意欲を高め、看護専門職業人となる自己の目標を明確にすることにより、人材の育成に資することを目的としています。

学業成績並びに本学及び社会への貢献等を審査し、

宮崎徳子奨学金は4年生4名、3年生3名の計7名を、また、長江拓子奨学金は2年生1名を、それぞれ本年度の奨学生とすることを決定いたしました。

授与式では、丸山学長から賞状と奨学金が授与され、宮崎先生からは激励のお言葉や長江先生の功績などをお伺いし、その後は記念撮影。今後、この奨学金を受給された皆さんの、更なるご活躍を期待します。

なお「河野啓子賞」表彰式は、来年2月に実施される予定です。





## 四日市看護医療大学2020年度(2021年3月)卒業生

### 国家試験・就職関係

#### 就職内定率100%

令和3年3月卒業予定者の就職内定状況は、コロナ禍において、就職試験が少し延期される病院・施設もありましたが、最終的に100%との学生からの報告を集約できました。

本学学生は、キャリア支援委員の先生のご指導もあり、早期に自己分析・病院研究、履歴書や面接などの対策等を行い採用試験にむけ、しっかりと準備・対策を

行った結果と思います。

これから大学内で現3年生を対象とした就職対策ガイダンス(12月、3月、4月)を実施します。このほか、業者主催の就職セミナーや、病院見学会・インターンシップが多く開催されます。しっかりと情報収集を行い、就職への意識を高めるための大切な時期です。積極的に参加してください。



#### 【内訳:12月1日現在100%】

**【地域別】** 三重県66.1%、愛知県25.9%、岐阜、静岡、東京、大阪の病院等に就職が内定しています。

看護師をはじめ、保健師または助産師として採用が予定されています。

\*参考資料 令和元年度就職進路状況

- ・就職率100% (三重県63%、愛知県30.3%、静岡・岐阜・東京・神奈川等)
- ・国家試験合格率(看護師99.2%、保健師100%、助産師100%)

### 内定者の喜びの声

#### 看護師(4年 小芦裕衣さん/市立四日市病院)



私がこの病院を選んだ理由は、インターンシップや実習を通して、看護師さんが豊富な知識と技術をもとに看護を患者さんに笑顔で行っている姿を見て、強く憧れたからです。インターンシップなどを通して、実際に病院の雰囲気を知るとは、自身の思い描く看護師として働ける職場を見つけることに繋がられると思います。試験当日は、先生方の手厚いサポートのおかげで、とても緊張した面接も、笑顔で自分らしさを忘れずに臨むことができました。就職活動では、自身の長所や性格など普段では意識しないことを考えることで、自分自身を見つめ直す良い機会にもなると思っています。皆さんも笑顔と自分らしさを大切に、夢に向かって頑張ってください!

#### 保健師(4年 中森有沙さん/川越町)



私は住民の身近な存在として保健活動を行える市町村保健師に興味を持ち、看護師と並行して保健師の就職活動を行いました。川越を志望した理由は、多世代が交流する機会が多く、地域ぐるみで子育てを行うことを目標に掲げること、つながりを大切にしているところに魅力を感じたからです。就職活動に取り掛かるのが遅かったことや、実習、卒業研究、国家試験対策などが重なる時期であったことで焦りや不安が大きかったです。しかし、先生方の手厚い試験対策により十分に対策ができ、内定をいただくことができました。就職活動は忙しい時期と重なるため、早めに取り組むことで余裕をもって試験に臨むことができると思います。保健師に少しでも興味がある後輩の皆さんはぜひ挑戦してみてください。

#### 助産師(4年 木村奈央子さん/桑名市総合医療センター)



私は、大学入学前から地元で就職したいと考えていました。助産師を目指して入学し、大学生活は家族にいつも協力をしてもらい支えられました。モチベーションを落とすことなく過ごすことができました。家族との時間も大切にしたいため、私にとって家から近いというのがとても重要でした。地元の中でも、この病院を志望した理由は、就職説明会で「患者だけでなく、一人一人の職員を大切に」という言葉を仰っていたからです。大切に思い思われながら、働きたいと思いました。皆さんも、希望の病院を調べたり、説明会などに参加して、ここで働きたいと思う病院を見つけてください。

## 臨地実習レポート

【実習名】助産学実習

【実習目的】 周産期における母子とその家族に助産過程の展開を通して、助産診断及び助産技術に必要な知識と技術を習得し、実践できる能力を養う

【実習期間】 令和2年7月から11月までの期間

### 「助産学実習」を終えて

4年 藤田美波さん 【実習先】小塚産婦人科



今年は例年と異なり、病院でお産を10例分とすることができず、精神的にも焦りや不安を抱えながらの実習となりました。学内実習8例で、教員の指導の元、知識・技術を身につけ、2例分の病院実習で、学内で学んだ事を活かすことができました。生命の誕生に立ち会う事の素晴らしさを感じると同時に、命と隣り合わせであるという責任感の重さを感じました。このコロナ禍で学生の受け持ちを許可していただいた産婦さんに感謝し、実習で得た学びを忘れず、母児の安全を第一に守り一つひとつの行動に責任を持って動くことのできる助産師になれるよう努力していきたいと思っています。

【実習名】コミュニティケア実習

【実習目的】 地域におけるさまざまな看護実践の場を見学し、地域で生活する人々の健康を支える保健医療チームの一員として活動する看護専門職の役割について考える

【実習期間】 令和2年9月7日から9月11日

### 「コミュニティケア実習」を終えて

2年 金山航大さん 【実習先】四日市保健所(オンライン)



今回のコミュニティケア実習では、実際に働いている保健師の方の話を聞くことで、保健師の仕事の内容について詳しく知ることができ、さらに興味を持つことができました。また、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、オンラインでの実習でしたが、自分が住む地域について目を向ける事で特色を知ることができたと同時に、他の地域との違いを知ることができました。今回の実習を通して得た知識を基に、あらゆる健康レベルの人々が生活する地域に目を向け、その地域に合わせた看護が展開できるよう、日々学びを深めたいと思います。

【実習名】領域別看護学実習

【実習目的】 看護の多様な役割を理解し、看護に必要な知識と実践能力を身につける(成人I・II、老年、小児、母性、精神、在宅看護学実習)

【実習期間】 令和2年9月14日から令和3年2月26日

### コロナ禍における領域別看護学実習 在宅看護学 講師 多次淳一郎先生

在宅看護学領域では、受け入れ施設のご理解と協力、また在宅療養者さんご家族のご理解を得て、訪問看護ステーションでの臨地実習を行っています。例年は8日間、臨地に出ますが、今年は密を避けるため、1日あたりの人数を減らし、学生1名が臨地に出る日数を4日以内としています。残りの日は学内実習に充てています。臨地日数が限られることで同行できる訪問件数も少ないですが、その中でも受け持ち事例を担当し、情報収集から看護計画の立案までは行っています。学生の様子を見てみると、一つひとつの経験を文献で調べたり、学生同士で意見交換するなど、意欲的に学習に取り組んでくれています。今後、新型コロナウイルスの流行が再拡大した時には臨地を中止し、学内・遠隔実習に切り替えることを想定し、準備を進めていますが、可能な限り、臨地に向かう機会を設けられればと考えています。



## 一部対面授業を再開しました

### 看護学科1年配当科目「基礎セミナーI」の授業風景(本館3階講義室)



12月2日(水)の講義では学生がパワーポイントを投影しプレゼンテーションを行い、その後他学生からの意見交換を通し考察を深めました。

### 臨床検査学科1年配当科目「血液検査学I」の授業風景(B館2階講義室)



「アクティブラーニング」を取り入れた授業が行われていました。数人のグループに分かれ、主体的・対話的に学ぶ授業展開となっており、学生もいきいきと取り組んでいました。